

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 日作成

事務事業名	富士川水防連絡協議会参画事業 □ 実施計画事業	所属部局	建設部	単位番号	7036				
		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博				
基本政策	III うるおいと利便性のある都市づくり □ 実施計画事業	所属担当	維持担当	担当者名	時田 一直				
				細目	細々目				
政策	12 治水対策の河川等の整備	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
施策	19 河川・水路の整備		01	一般	09	01	04	020	02
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠							
事業の内容 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 国、県並びに富士川流域の関連市町村により構成し、情報交換、水防訓練に参加し、有事の際に連携が取れるよう体制作りを行う。	事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			0						
						計	0		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動
25年度活動実績 国、県並びに富士川流域の関連市町村により構成し総会を行い、情報交換、水防訓練に参加し、有事の際に連携が取れるよう体制作りを行
26年度活動予定 国、県並びに富士川流域の関連市町村により構成し総会を行い、情報交換、水防訓練に参加し、有事の際に連携が取れるよう体制作りを行
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
市の担当職員 市民
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)
情報交換や水防訓練に参加することにより、有事の際に関連市町村との連携が取れる。 水防活動の重要性を市民に理解してもらう
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)
災害に強い町作り

⇒	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
	名称 単位
ア:協議会開催回数 回	
イ:水防訓練の実施 回	
ウ:	
⇒	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
	名称 単位
ア:協議会に参加した回数 回	
イ:水防訓練対象地区民数 人	
ウ:	
⇒	⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
	名称 単位
ア:情報交換回数 回	
イ:水防訓練への参加人数 人	
ウ:	
⇒	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
	名称 単位
ア:年間被害額 円	
イ:	

		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
		一般財源 千円	100	0	0	0	0		
		事業費計 (A) 千円	100	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数 人	1	1	2	1	1		
		延べ業務時間 時間	2	2	4	2	2		
		人件費計 (B) 千円	9	9	18	9	9	0	0
		(A)+(B) 千円	109	9	18	9	9	0	0
		活動指標	ア:回 回	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.0		
			イ:回 回	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.0		
		対象指標	ア:回 人	1.0 400.0	1.0 400.0	1.0 400.0	1.0 400.0		
			イ:人 人	400.0 400.0	400.0 400.0	400.0 400.0	400.0 400.0		
		成果指標	ア:回 人	1.0 350.0	1.0 350.0	1.0 350.0	1.0 350.0		
			イ:人 人	350.0 350.0	350.0 350.0	350.0 350.0	350.0 350.0		
		上位成果指標	ア:円 円	0.0					
			イ:円 円						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和35年6月に治水、水利に関する方策を研考するため。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	昭和35年6月に治水、水利に関する方策を研考するため。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	国、県並びに富士川流域の関連市町村により構成し、情報交換、水防訓練に参加し、有事の際に連携が取れるよう体制作りを行う。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	国、県並びに富士川流域の関連市町村により構成し、情報交換、水防訓練に参加し、有事の際に連携が取れるよう体制作りを行う。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	水防訓練に参加

事務事業名	富士川水防連絡協議会参画事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 排水利用者の安全確保を図ることにより目的との整合性が出来る。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務がある。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 水防活動の技術習得や県並びに関連自治体との連携強化により安心・安全なまちづくりを推進していくため妥当である。	
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人員と時間において執行していくので向上の余地はない。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域要望であるため出来ない	<input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域要望であるため出来ない
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費はなし。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人員と時間において執行していくので削減の余地はない。	
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民の安心・安全を目的としているため公平・公正である。	
効率性評価			
公平性評価			

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	富士川水防連絡協議会への参画事業であり、水防訓練や研修会へ積極的に参加し、技術向上及び連携強化を図っていく。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																							
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																							
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																							
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																								
(2)改革改善案について	<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果 水 準</th> <th>向 上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準					削減	維持	増加	成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低 下	<input type="checkbox"/>		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
	維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
	低 下	<input type="checkbox"/>																						
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							